



## 新年のご挨拶

## 病院長

かさま  
笠間

つよし  
毅

あけましておめでとうございます。昭和大学江東豊洲病院も平成26年3月に開院してから今年で6年目を迎えようとしております。昨年1年間も病院として大きな事故やトラブルもなく比較的順調に成長してきているのではないかと考えております。これもひとえに病院に勤務しているすべての教職員の皆さんの多大なるご理解・ご協力の賜物と考えており感謝いたしております。

当院における今年度の大きな動きといたしまして、増床の予定があります。平成30年に東京都の病床数見直しが大々的におこなわれた結果、今年4月から開院当初からの目標でありました病床数の400床への増床が現実的になってきました。そのため年末から病棟内の工事などを行い増床に備えています。病院の管理・運営といたしまして現在の病床数でも多くの患者さんをご紹介いただき、平均在院日数8日台と短い入院期間で限られた病床を多くのスタッフの懸命な努力と工夫でやりくりしてきました。増床後は比較的余裕が出てきますが、病院の規模もそれだけ大きくなるわけですから忙しさはさらに増すものと思われまます。当院の理念のひとつである安全・安心の医療とまごころの医療を基本に、患者さんはもとより医療関係者の皆さんの期待に応えられるよう職員一同頑張っていく所存であります。

昨年秋には豊洲新市場も無事開場いたしました。いままで人通りも少なかった市場の地域も多くの人々や車の往来などもありにぎわって来ました。2020年東京オリンピックの開催に向けてさらに発展・変貌していく豊洲地区の医療の最前線として、当院の役割もさらに大きくなるものと思われまます。江東区を含めた東京都東部医療圏のクリニックや病院の先生方と多くの患者さんのご理解とご協力、またさまざまなお指導などいただきながら皆さんの頼りになる病院になれるよう気を引き締めて病院の発展に努めてまいります。この新しい年がより皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心よりお祈りいたしまして、私からの年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いたします。



昭和大学江東豊洲病院

### 第57号のトピックス

- 新年のご挨拶
- 診療科紹介
- 中学生職場体験レポート
- 「ご意見・ご要望」についての回答
- 編集後記

新年おめでとうございます。平成最後のお正月はいかがお過ごしでしたでしょうか。日本の健康寿命は、男性 72.14 歳、女性 74.79 歳(2016 年厚生労働省)です。来年は、東京 2020 が開催され、ますますスポーツ熱が高まります。

我々整形外科は、いつも皆さんの「痛み」に向き合っております。身体運動は人間の自由の基本であり、手、肘、肩、足、膝、股関節、首、腰の痛みは、その自由を妨げる大きな由々しき問題です。我々は、上肢、下肢、脊椎の身体の各領域に、大学附属病院として、関節鏡視下手術、3D ナビゲーションシステムによる人工関節置換術、内視鏡視下脊椎手術、低侵襲脊椎手術など最先端で安全な手術治療と、手術後の痛みを軽減するための神経ブロック、薬物療法と、早期社会・



スポーツ復帰を目指したりハビリテーションにこだわった治療を提供して参りました。

また、地域基幹病院として、二次救急医療を担い、急性疾患・外傷に積極的に取り組んでおります。開院当初 400 件あまりであった手術件数は、昨年 1000 件を超えるに至りました。我々は、限られた医療施設と制度の中で、医師、理学療法士、作業療法士、看護師、薬剤師などを中心とした整形外科チームで、地域の皆さんの「痛み」をやわらげ、

「笑顔」を生み出せるように、使命感を持って全力で研鑽を積み、診療に従事して参ります。

今年は、元号が変わり、大きな時代の変化が予想されます。昨年まで全国各地で起こった記録的な災害により、今なお日常を取り戻せない方々のことを忘れずに、新しい時代の幕開けに際し、この新しい年に一つでも多くの「笑顔」が見られることを心から願っております。



整形外科のスタッフ



## 中学生職場体験レポート

8月28日から30日に辰巳中学校の2年生2名、11月20日から22日に有明中学校の2年生4名、11月27日から29日に深川第五中学校の2年生4名が当院で職場体験をしました。医療職に興味を持ち、積極的に職場体験をする姿がとても印象的でした。消化器センター、看護部、薬剤部、放射線技術部、臨床病理検査室、臨床工学室で様々な業務を体験しました。消化器センターでは、練習用の胃カメラで皆さん試行錯誤しながら内視鏡検査の体験を行いました。

### 辰巳中学校 感想文

- ・僕は実際に手術室に入って、手術の様子を見学させていただいたことが一番印象に残っています。医局で笑顔で話しかけてくださった先生方が患者さんのために必死になって手術している姿にとっても憧れを感じました。この体験を忘れずに僕も15年後、20年後に先生方のようなドクターになりたいです。(U.T)
- ・普段は見ることのできない病院の裏や、手術の様子を見ることができて良い経験になりました。また実際に仕事を体験してみると難しさを感じました。日常はとても優しく笑顔ですが、仕事の際は真剣に取り組む姿を見て見習いたいと思いました。患者さんと接する時、笑顔で安心感を与えていたことも心に残りました。(M.R)



### 有明中学校 感想文

- ・今回豊洲病院に行き、病院の仕事を知り、病院の仕事に興味がわきました。病院の人の、人を助けたいという気持ちを強く感じられました。(K.J)
- ・職業に関して基本的なことから、医療の具体的な仕事内容、細かい技術まで様々なことを教えてくださいました。これをきっかけに将来について考えるようになりました。(N.Y)
- ・「コードブルー」というたった6文字の言葉で医者や看護師が倒れた患者さんの元に走って向かうということに驚きました。私もこれから将来の職業についてしっかり考えていきたいです。(I.C)
- ・実習をして、看護師の仕事があれほど忙しく、大変だとはおもいませんでした。私もこれからの将来に向けて勉強を一生けんめい頑張ります。自分にとって、ほこりに思えるような職業につけるようにします。(N.M)

### 深川第五中学校 感想文

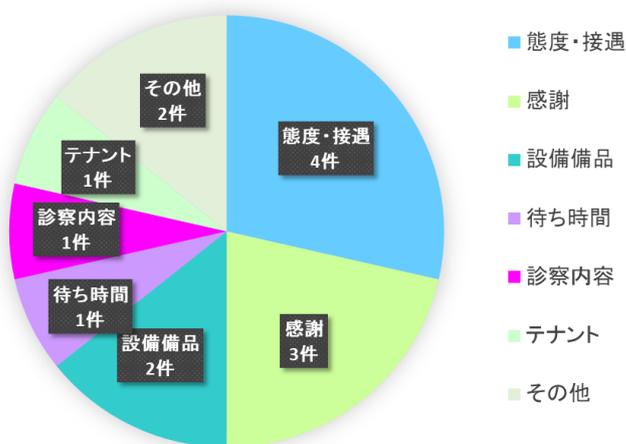
- ・この体験で一番印象に残っていることは、どんなときでも患者さんと接するときは笑顔だということです。この職場体験で学んだ様々なことは私にとってとても濃く一生の財産となりました。(I.M)
- ・職場の方々が、一人の患者さんのために、連携して検査、治療にあたっていらっしゃる姿を拝見させていただき、多くの人に支えられて生活している事を実感しました。(K.R)
- ・胃カメラを実際に体験できたことが印象に残っています。手術をしている姿も感動的でした。日頃何気なく見ている看護師の仕事は実際に体験してみるとすごく辛くて大変でしたが、さらになりたいという思いが強くなりました。(S.H)
- ・特に私の印象に残っていることは、「病院内にいる人はみんな患者さんのことを第一に考え行動し、一早く普通の生活にもどれるようにしている」という言葉です。普段からたくさんの人を相手にする仕事で、とても忙しそうだったのに、一人一人に真剣に向きあっている姿を見てすごいなと感嘆しました。(Y.M)



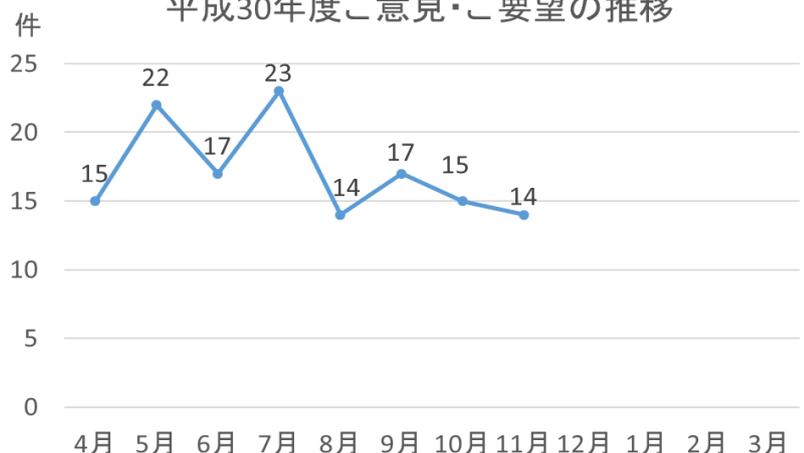
## ◆「ご意見・ご要望」についての回答

ご意見・ご要望	回答・改善策等
院内に Wi-Fi を設置してほしい。	この度は貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。Wi-Fi の設置につきまして、院内で使用しております電子機器ネットワークの障害に起因するため、大変恐れ入りますが設置は見合わせております。 ご理解のほどよろしくお願いいたします。 回答部署：管理課
ご意見・ご要望	回答・改善策等
待ち時間が非常に長く、予約時間より 2 時間も長く待った。待つ時間がないよう予約時間を遅くしてほしい。大腸検査も 1 日がかかりだった。	当院は専門性の高い医療と救急医療を目的に設立された病院のため、検査中にがんなどが見つければ詳細な観察や、緊急搬送された患者さんの出血など優先的な治療処置などに 1 時間以上かかることがあります。これらの現状を考えると待ち時間改善の努力は常に行いますが、なくすことは困難な状況です。しかし、患者さんの満足度向上を考え、検査時間が遅れる場合は、受付で表示通達し、検査状況を把握できるよう改善していきます。この度は貴重なご意見をありがとうございます。 回答部署：消化器センター

平成30年11月分  
ご意見・要望の内訳  
総件数14件



平成30年度ご意見・ご要望の推移



### 編集後記 副院長 上條 由美

あけましておめでとうございます。2019年（平成31年／新元号元年）は、天皇陛下の退位、皇太子殿下の即位、元号の改定があります。干支では、亥は十二支の中で12番目に数えられ最後の年になります。最後というと悲しいイメージですが、次の始まりに向けて新たなエネルギーを蓄えるという意味もあるそうです。2019年は、終わるものと始まるものが一度におこり、歴史の節目になりそうな年です。消費税10%など新しい制度も導入され、様々な変化にも対応していかなければなりません。こうした環境の変化を前向きに考えて、チャンスととらえて明るい1年にしたいですね。

